

1. 授業の概要(ねらい)

近年、インフォメーション・テクノロジー(IT)の発達に伴い、さまざまな職種の業務でデジタル情報が扱われるようになりました。

しかし一方で、世界的なネットワークを通じ、デジタル化されたメッセージの送受がきわめて日常的なものになってしまった現在、デジタル技術とそれによって表現されるビット情報がいかなるテクノロジーのもと、どのような職業で活用され、社会的恩恵をもたらしているのかについて、じっくりと考える機会は、少ないのが現状です。

情報化が進み、あらゆる職業において情報に関する仕事が存在するようになり、それを支える情報産業は、主要な産業分野にあげられるようになりました。これを受けて、情報関連の人材ニーズも高まっており、それに応える働き手には、「情報」を仕事とすることへの意識や考え方、業界への理解が求められてきています。

情報と職業をめぐるこのような状況をふまえ、本講義では、今日実用化されている主な情報技術を把握し、それらが特定の職業で、いかなるサービスとして提供されているのかについて事例を見ていくことにします。それにより、社会人としての情報に関する知見や考え方を身に付け、情報を取り扱う業務に活用できる資質・能力の修得を目指していきます。

2. 授業の到達目標

- ① 社会に求められている情報産業の現状を理解することができる。
- ② 情報と産業の変遷を理解し、情報化の経緯と様々な情報技術の導入、変化についてその必要性とともに説明することができる。
- ③ 情報技術を活用したさまざまな業務について理解し、必要性を説明することができる。
- ④ 情報を扱う職業人としてどうあるべきかを理解し、実践することができる。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価対象として、授業への出席は3分の2以上する必要があります。
成績については、授業で課されるレポートと最終課題にもとづいて評価します。

- ① 中間課題(50%)
- ② 最終課題(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

小泉宣夫 圓岡偉男 情報メディア論 テクノロジー・サービス・社会 講談社

参考文献

駒谷昇一 辰己丈夫 情報と職業 改定2版 オーム社

廣石良雄 情報と職業 第2版 エスシーシー

5. 準備学修の内容

授業内容によってはLMS等で事前・事後学習および課題を課す場合があります、そのための時間は確保すること。

6. その他履修上の注意事項

欠席および公欠の扱いについては、大学の規程に従います。授業形態は対面授業とオンライン授業の併用(ハイブリッド型授業)になります。LMS上で資料や課題を通知しますので必ず確認するようにしてください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション |
| 【第2回】 | 情報を伝えるメディア |
| 【第3回】 | メディアの歴史 |
| 【第4回】 | メディアの符号化 |
| 【第5回】 | 情報の表現と理解 |
| 【第6回】 | 通信ネットワークと携帯化 |
| 【第7回】 | ソーシャル・メディア |
| 【第8回】 | 社会インフラとサービス |
| 【第9回】 | ビジネスを支えるメディア |
| 【第10回】 | 企業における情報活用 |
| 【第11回】 | ネットビジネスの展開 |
| 【第12回】 | 教養とエンターテインメント |
| 【第13回】 | 生活環境を支えるメディア |
| 【第14回】 | メディアと社会 |
| 【第15回】 | 総括 |